

女性が活躍できる社会を目指して!!

第5回 全国女性町長サミット in 播磨町



10月20日 播磨町中央公民館大ホールにて

全国の女性町長が一堂に会する「第5回全国女性町長サミット in 播磨町」が10月20日、兵庫県の播磨町で開催されました。

野木町からも真瀬宏子町長が出席し、播磨町の清水ひろ子町長をはじめとする福岡県苅田町長、埼玉県長瀬町長、高知県の町長、青森県外ヶ浜町長の全6名の女性町長が、女性の活躍などをテーマに意見交換いたしました。女性町長は全国で7名で、公務により神奈川県二宮町長が欠席となりましたが、小説家の玉岡かおるさんの基調講演のあとのパネルディスカッションでは、各町の名所紹介や、女性が活躍するために大切な要素について話し合わせ、「男女が互いの特性を認め合うこと」や、「病時保育の早急な充実」等について意見がだされました。

終わりにサミット宣言に署名し、盛会のうちに終了することができました。

ひろ

コラム

No.84



野木町長
真瀬宏子

住みやすい町

今年も早いもので、もうすぐクリスマス、年の瀬と終りに近づいてまいりました。近年では地球規模で気象の変動が激しくなり、世界各地で今までにない水害や山火事、地震等が報道されました。日本でも今年は、台風、地震、豪雨等が各地で起こり、そのたびに大きな被害の状況が映像に映し出されました。突然災害にあつて困りはた人々の様子は、拝見するのもつらい事でした。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

それに比べて比較的災害が少ない野木町としては、今年も何事もなく過ぎつつあることに感謝しております。そして、つくづく住みやすい町だと思えます。住んでいる人々及び関係する皆様の「心」が穏やかであることも、住みやすさにつながっているかもしれません。町の自然、人、環境、産業、交通、文化財等々すべてが相まって、この町の住みやすさにつながっているのでしょうか。これも多くの先輩、先人たちが育んでくださった結果だと思えます。

今年も「関東ごまんなかサミット」等で、近隣、近隣の市町が連携をとれるようになった記念すべき年でもあったと思えます。県境にあるわが町は、今後も近隣の自治体とよく連

携をとっていくことが住みやすい町づくりに必須のことだと思えます。

ところで「関東ごまんなか」といいますが、「野木町音頭」(なかにし礼作詞)では、『どんと胸はり 生きよじやないか ここが日本の真ん中だ 野木はよい町 よいところ』等と、うたわれておりますので、この際、野木町を“日本のど真ん中”位の大きな気持で捉えるのもいいのではないかと思います。

また、今年初めての海外派遣で、ニューヨークランドに行った中学生たちは、実に和やかに現地を生徒と交流を深めていました。私はその様子を見て、若いエネルギーに大きな期待を致したいと思えます。いつの日か世界を舞台に羽ばたく日が来ることを夢見て、帰国した次第です。

このように、概ね今年も無事に終わりそうです。いや、町としては町外にも目を向け、一歩前進した記念すべき年となったと思えます。“日本のど真ん中”として大いに未来に羽ばたいていきましょう。

年の終わりに少しわがまち自慢になりましたが、一番大切なのは、皆様ご自身の自慢できる材料が増えていくことだと思えます。そして、町の最大の自慢は皆様ご自身です。

来年も皆様のお幸せをお祈り致します。



上空からの町風景

食生活改善推進委員会が開催 クッキング講座

10月20日(金)、公民館において「クッキング講座」を開催しました。

テーマは“パーティーメニュー”。豚肉のパイ包み焼き、かぼちゃのスープ、エスニックサラダを作りました。野木町産の野菜をたっぷり使い、参加された方からは「みんなとたのしく料理を作って、おいしく食べられて素敵な時間をすごせました」という感想をいただきました。

食生活改善推進委員会は今後も町民の皆様の健康づくりを応援していきます。



投稿 友沼八幡神社 「將軍御休所跡」

友沼区広報連絡委員

青木 茂男

友沼小学校の近くにある友沼八幡神社は、地元では「八幡さま」と呼ばれ、お宮参りや七五三、成人式などの祝い事の節目に詣で行く末々の多幸を願っています。また友沼八幡神社が徳川將軍御休所跡であることはあまり知られていないようです。

徳川將軍の日光参詣は、徳川家康の墓を久能山から日光へ改葬されたのを機に、時の將軍秀忠より始められ、將軍の社参は12代將軍家慶まで続きました。徳川將軍家が日光社参をした際、友沼八幡神社に立ち寄り小休止を取りました。

徳川將軍家の日光社参の工程は3泊4日が恒例となっており、1日目の宿泊は岩槻城、2日目の宿泊は古河城、3日目の宿泊は宇都宮城が壬生城となっていました。友沼八幡神社は2泊目の古河城を出発して最初に休憩した場所、境内には西運

庵と呼ばれる御休所が準備されていました。

友沼八幡神社は拝殿、玉垣の劣化老朽化により土瓦葺のずれ、化粧梁、主柱の腐敗により改修が急務となり、平成25年改修工事が行われました。工事は平成23年6月に着工し平成25年11月に終了いたしました。

改修工事が無事完成を見ることのできたのは、奉納寄進に協力をされた氏子の皆様方、並びに建設委員の皆様のご尽力、神社改修という希有な工事を地元の大工さんに施工いただいたことだと思っております。

改修工事により八幡神社は美しい姿を取り戻す事ができました。

友沼八幡神社が徳川將軍の御休所跡として語り継がれ、また「八幡さま」が地域の方々の心のより処として末永く愛され続けて欲しいと願っています。



↑友沼八幡神社

投稿俳句 野木俳句会

コスモスはいつもどこかが淋しくて

秋元 幸治

秋色のくつ下自慢ハリソン・フォード

石川 和子

秋霖や明日は佳境に入るページ

小川 鶴枝

「ヨーイドン」バトンつなぐか三代目

幸田 慶三郎

縄電車いそぐなどれも花野行

小林 たけし

丁寧に生きてるつもり秋の蝶

竹内 律子

秋深む写楽の顎のまがりかな

田村 行子

言い訳の切手貼り足し秋灯

藤間 雅江

手の甲は女の齢さんま焼く

軽部 榮子



関東どまんなかサミット会議に 小山市が加入しました

野木町、栃木市、茨城県古河市、埼玉県加須市、群馬県板倉町で構成されている「関東どまんなかサミット会議」に、小山市が新たに加入しました。

これは、10月16日に古河市地域交流センター「はなももプラザ」で開催された「関東どまんなかサミット会議」において決定されたもので、小山市が加わり、より一層の連携を深め地域の活性化を目指すものです。

調印式には、関係市町長が出席し、「公の施設の相互利用に関する協定」及び「災害時における相互応援に関する協定」を締結し、相互の協力・連携体制の強化を約束しました。

なお、相互利用の対象となる小山市の施設は、広報のぎ3月号でお知らせする予定です。



【左から】栗原板倉町長、真瀬野木町長、針谷古河市長、鈴木栃木市長、大久保小山市長、角田加須副市長

「お口の健康」8020運動表彰

8020運動とは、80歳になっても健康な自分の歯を20本残そうという運動です。

小山歯科医師会および町では8020運動の普及啓発を目的に毎年対象者の方を表彰しています。今年度は10月17日に役場にて表彰式を行いました。本年度は10名の方が対象となり、当日は7名の方が出席されました。

80歳になっても自分の歯を残すため、毎日の歯磨きを心がけましょう。



→赤荻 新三さん (100歳)



→菅谷 武男さん (最高齢104歳)



→小黒 たけさん (100歳)



**ご長寿
おめでとびっぴざいます!!**

敬老の日のお祝いとして、町の最高齢の方と、今年度100歳を迎えられる方々を町長が訪問し、お祝い状と記念品を贈りました。おめでとございます。

野木町 秋のイベントアルバム 2017



→鈴木杏奈さんのステージ

第2回 10月7日(土) ~ 8日(日)
れんがまつり



→日本に4カ所しか残っていないホフマン式煉瓦窯の関係者が初めて一堂に会しました。



10月21日(土) ~ 11月3日(金)

第41回 文化祭



→少年棋士の真剣勝負。「絶対負けなそ!!」



→清々しい歌声がホールに響き渡りました。



→軽やかなステップで若々しく舞い踊ります。



彩り豊かな野木の秋...

→大盛況の展示即売会。



→赤羽みちえ先生の漫画家体験。上手に描けたかな?



→生産者が大切に育てた農産物。野木の大地の恵みです。



第40回 産業祭

11月12日(日)

野木町の秋は楽しいイベントがいっぱい！
見たり、食べたり、体験したり。
あなたにとって今年の秋は
どんな秋でしたか？



→「一等当たるといういな！」

